

展示『色：好きな色は何？』

会期：2012年5月15日（火）－28日（月）

会場：農学部分館

テーマ「色」の書名とコメント

赤

「コインロッカーベイビーズ」村上龍

～怒りや危険性と同時に愛を表す赤～

この本で表現されているのは深く熱い血の「赤」です。暴力や不秩序が散りばめられたストーリーですが、なぜか深く引き込まれます。

ピンク

「さくら図鑑」中島千波

～幸福や夢、可愛さを象徴するピンク～

日本人が大好きな桜。その桜の色に様々なピンクがあるのをご存知でしょうか。桜と背景とのコントラストを楽しむのもおすすめ。

黄

「GO」金城一紀

～明るく希望の光である黄色～

様々な葛藤を抱える主人公ですが、彼の明るく強いエネルギーが読む者に力をくれます。読み終えた後の疾走感が清々しい青春恋愛小説。

緑

「神去なあなあ日常」三浦しをん

～郷愁や平和の想いが詰まった緑～

ある日突然、林業を営む村に放り込まれた「俺」。村民達との交流は、ほんのり笑えると同時に懐かしさを感じさせます。山の豊かな色合いを想像しながら、読んでみてください。

青

「夏の庭」湯本香樹実

～孤独とさわやかさを持ち合わせた青～

「死」というものに興味を持った少年と孤独な老人との交流を描いた作品。夏の青空のようにさわやかでありつつも、生と死について深く考えさせられる一冊です。

白と黒

「100万回生きたねこ」佐野洋子

～相反するようで実は繋がっている白と黒～

大人が読んでも楽しめる絵本。生と死を繰り返すとらねこにとって、白いねこはどういった存在だったのか。自分の感性のままに読んでみてください。

何色が好きか分からない

「カラフル」森絵都

真っ白な記憶になった「ぼく」が日常にたくさんの「色」を見つけていく姿に胸打たれる物語。日常に溢れる沢山の「色」に気付かせてくれます。

何色でも好き

「色の日本語いろいろ辞典」加藤迪男

何色でも好きな方は、次に色名について学んでみてはいかがでしょうか。日本の色彩はとても豊かです。馴染みのある色も多いので、読みやすいと思います。